

令和7年度播磨町行政改革懇談会 議事概要

日 時	令和8年2月20日(金) 14:00 ~ 15:10
場 所	播磨町役場 第一庁舎3階 BC会議室
出席者	<p>【 播磨町行政改革懇談会委員 】</p> <p>中本 淳 (兵庫大学・兵庫大学短期大学部) (会長)</p> <p>鶴井 昌徹 (播磨町商工会)</p> <p>脇 清 (播磨町自治会連合会)</p> <p>宮尾 尚子 (播磨町社会福祉協議会)</p> <p>大形 実香 (株式会社みなと銀行)</p> <p>澤木 俊昌 (税理士)</p> <p>米津 実千代 (教育委員)</p> <p>松下 嘉城 (住民委員)</p> <p>平岡 尚子 (住民委員)</p> <p>【 町 】</p> <p>佐伯 謙作 (町長)</p> <p>平野 祐次 (副町長)</p> <p>赤松 幸子 (教育長)</p> <p>松本 弘毅 (企画総務部長)</p> <p>浅原 浩一郎 (財務部長)</p> <p>前側 武博 (債権管理課長)</p> <p>【 事務局 】</p> <p>筒井 和秀 (企画課長)</p> <p>大崎 恵美子 (企画課課長補佐)</p> <p>丸井 直樹 (企画課主査)</p>
欠席者	<p>【 播磨町行政改革懇談会委員 】</p> <p>高瀬 泰雅 (播磨町労働者福祉協議会)</p> <p>堀井 桂子 (キューピット福祉会)</p>

## 議事1 あいさつ

(町長)

本日は寒い中、本会議にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。

国では「積極財政」ということで、2年連続で過去最大を更新する予算案を国会に提出しております。重要な施策に積極的に投資をして、経済を元気にすることで、「強い日本」を創ることに注力しています。播磨町においても令和8年度予算案は過去最大の規模となる予定です。国と同様に、地域経済を活性化させ、その力を子育てや教育、福祉の施策に役立てることを目指してまちづくりを進めています。

以前は、行政改革といえば、職員数を削減したり、賃金を下げたりすることでした。また、デフレも長く続いていました。その結果、消極的な行財政運営に繋がってしまっていたというように思います。

しかし、近年では、物価高騰等もありますが、積極的な投資により国力を上げていく取組みを国では進めています。播磨町でも増加傾向にある税金などを民生費、教育費にしっかりと予算配分し、住民に寄り添った施策を展開しています。

もちろん歳出を抑制できるところはしっかりと抑え、JR土山駅北のまちづくりや市街化調整区域の土地利用など将来的な投資も行いながら、行財政運営に努めているところで

す。本日は本町の行財政運営について、忌憚のないご意見をいただき、今後のまちづくりに繋がっていきたく思いますので、どうぞよろしくをお願いします。

## 議事2 報告

### (1) タウンプロモーションについて

－企画課から説明－

(会長)

ただ今の説明につきまして、委員の皆様からご質問やご意見を伺いたいと思います。いかがでしょうか。

(委員)

デジタルサイネージの導入についてお伺いします。現在は播磨町役場の庁舎1階にのみ設置されているとのことですが、情報発信するにはすごく良いツールだと思います。将来的に中央公民館や各コミセン等にも設置する考えはありますか。

(事務局)

役場庁舎にデジタルサイネージを導入して1年ほど経ちます。今後は違う場所でも導入可能かどうかについて、業者へのサウンディング調査なども実施しながら検討していきたいと思っております。ただ、デジタルサイネージの設置費用は広告収入で賄っており、設置場所の人の流れや集客数が非常に重要な要素となります。その辺りも含めて検討してまいりたいと思います。

また、コミセンには既にモニターが設置されていますので、それを活用し行政情報を流すことを検討していきたいと思っております。

(委員)

デジタルサイネージ2台で設置、運用にいくら費用がかかっていますか。

(事務局)

設置、運用の費用は全て事業者負担なので、播磨町の負担は発生しておりません。逆にデジタルサイネージの設置に係る占用料として、年間約88万円の収入があります。

(会長)

広告主は17社あるそうですが、播磨町へ入るお金はどのようにして決まっているのですか。

(事務局)

播磨町へ入る金額は広告事業者数で決まるのではなく、定額となっています。

デジタルサイネージ設置事業者を選定するまでの流れを簡単にご説明させていただきます。役場庁舎で広告や行政情報を流すモニターが設置できるかどうか、まずサウンディング調査をしました。その結果、設置が可能ということになりましたので、入札を実施しました。役場庁舎にモニター2台を設置した場合、設置料としていくら収めていただけるかということで、応募者の中からより高い金額を収めていただける業者と委託契約し設置しました。

広告自体は委託事業者が広告主を募集してその収入を得ており、播磨町へは定額のデジタルサイネージ設置料を支払う形になっています。従って、広告主が増えれば委託事業者の収入が増えますが、広告主の多い少ないに左右されず播磨町は一定額の設置料を収入としていただけることとなります。5年契約で金額は固定です。5年後、引き続き実施するかどうか検討することとなります。

住民課や保険課では様々な手続きを行っていて、毎日多くの方が来庁されます。デジタルサイネージには役場に来庁される方をターゲットにした広告を多く流しています。ですので、あまり集客のない施設であれば、募集をかけたとしても応募がなく、設置は難しいかもしれません。

(委員)

行政情報が発信できる上に収入も得られるのではないかと思いましたが、設置する箇所は条件が難しいようですね。

(事務局)

役場庁舎のデジタルサイネージについても、どのような方が来られるか事業者がしっかりとリサーチした結果だと思います。

(会長)

他市町に設置することも考えられるのか。

(事務局)

播磨町をPRするというのであれば町が設置するというよりも、大きな駅などに既に設置されている大型ビジョンなどを利用することも考えられますが、費用も多額にかかることからそのあたりは検討が必要だと思います。

(町長)

少し別の話にはなりますが、播磨町立図書館の東側に駐車場ができました。ここは町有地なのですが、町でアスファルト舗装をし、その後事業者に貸付けて駐車場となっています。駐車場の整備は事業者が行っており、播磨町への収入は年間数十万円あります。播磨町駅周辺に月極駐車場はありますが時間貸駐車場はありませんでしたので、民業圧迫にはならないという観点からも実施させてもらいました。オープンしてから一定のニーズもあります。

(委員)

「広報はりま」に関して、前半は縦書きで後半は横書きになっていますが、横書きの部分が非常に見にくいという意見を周りの人からよく聞きます。行事やイベントなどの募集の記事が小さくて見えにくいこと、内容が区切りなく続けて書かれていることが要因だと思います。私も以前からイベント等を載せてもらっていますが応募者が減っている実感もあります。もう少し見やすくならないか考えていただけたらありがたいです。

(事務局)

貴重なご意見ありがとうございます。確かに、改行をあまりしていないので詰まった印象があるかと思いますが、いろんな情報をできるだけたくさん載せようと思うとこのような形になっています。より見やすく分かりやすい広報になるように検討を重ねていきたい

と思います。

(会長)

ホームページのイベントカレンダーはすごくいいと思いますので、そちらの活用も考えていただければと思います。

(2) 収納率向上に向けた取組について

－債権管理課から説明－

(会長)

ただ今の説明につきまして、委員の皆様からご質問やご意見を伺いたいと思います。いかがでしょうか。

(副町長)

債権管理課は令和4年10月の組織機構改革により新設されましたので、できてから約3年半が経ちました。新設されたとき危惧したのは、債権管理課と各課との連携や調整の部分でしたが、しっかりと連携し、収納率が向上していることは非常に嬉しく思います。それもひとえに債権管理課の職員一人ひとりがいろいろな制度や取組みを研究し専門的な知識を持っているという安心感があったからだと思います。成果は目立って現れないことも多いですが、行政として大変重要な仕事ですので本当に評価すべきことだと思います。

(会長)

収納率は他市町と比べてどうですか。

(課長)

兵庫県内の市町のランキングは毎年出ているのですが、令和6年度分はまだ集計できていないようです。令和5年度の決算では、現年度はだいたい真ん中くらいで、滞納繰越が上位10位以内に入っており、現年度と滞納繰越を足した合計は真ん中よりも少し上位になっています。

(会長)

99.41%という収納率はすごく高いと思いましたが、真ん中くらいなのですね。

(町長)

中山間部は収納率が高い傾向にあります。債権管理課長が兵庫県の税務課に研修生とし

て派遣された平成12年では、播磨町はかなり下位の方で兵庫県からももっと頑張るよう  
に言われていました。それが今ではここまで上がってきましたので大変うれしく思いま  
す。

(部長)

債権管理課は令和4年10月の機構改革で新しく新設された課ですが、現年債権はそれ  
ぞれの課で責任をもって賦課徴収しています。やむを得ず滞納繰越に至った滞納繰越債権  
を債権管理課で専門的知見をもって滞納整理を行っています。去年の実績で言うと滞納繰  
越債権の回収は3,500万円です。延滞金が1,000万円なので合わせて4,500  
万円ということになりますが、それだけに留まらず現年債権にも良い影響があり、収納率  
全体の向上に成果が表れているところです。

(町長)

水道料金の滞納で停水する数も減っています。

(3) 第5次播磨町行政改革実施計画の進捗状況について

－事務局から説明－

(会長)

ただ今の説明につきまして、委員の皆様からご質問やご意見を伺いたいと思います。  
いかがでしょうか。

(会長)

「No. 34 播磨町人材育成基本方針の実践」について、令和6年度の達成率が令和5  
年度に比べ非常に低くなっているようですが、何か理由はありますか。

(事務局)

達成率は、研修派遣人数÷全職員数×100で求められていますが、令和6年度から職  
員は外部研修も引き続き行いながら、職員が講師となって他の職員に伝えていく研修を始  
めましたので、その影響で外部研修に行く数が少なくなっているためだと思われます。

(会長)

そのような理由があるなら、算定方法を工夫すると良さそうですね。  
他、いかがでしょうか。

(委員)

先ほど債権管理課から収納率向上に向けた取組についてご説明いただき、100%に近い収納率になっていることが分かりました。そのため自主財源をこれ以上確保するには、やはり新たな取組みも必要になってくるのではないかと思うのですが、いかがですか。

(部長)

新たな取組みとしてキャッシュレス決済の差し押さえを昨年度に初めて行いましたし、先ほどお話した駐車場やデジタルサイネージにも新たに着手しております。また、ふるさと納税や企業版ふるさと納税、クラウドファンディング型ふるさと納税にも挑戦しております。今後も町としても常に新しい情報を得ながら、いろんなことにチャレンジしたいと思っています。

(町長)

いろんな行事やイベントに企業から協賛もいただいております。

(副町長)

加えて、市街化調整区域の編入等、地道に制度改正をしていくことで財源確保に繋げていくことが重要だと思います。そしてタウンプロモーションで播磨町の良さを他市町にアピールすれば人が集まってきます。播磨町を魅力あるまちにしていくことが全てに繋がると思います。

(会長)

収納率が上がることはもちろん素晴らしいことですが、他に新たな財源があればさらに町民のためにいろんなことができると思うので、今後も研究を重ねていただきたいと思います。

その他、委員の皆様、何かご意見などないでしょうか。

ないようでしたら、ここで司会を事務局にお返しします。

閉会

(事務局)

中本会長、円滑な議事進行をありがとうございました。委員の皆様、貴重なご意見をいただきありがとうございました。皆様から頂戴いたしましたご意見等を踏まえ、本町の行政改革の取組に尽力してまいりたいと思います。また、委員の皆様の任期については、今年度で満了となります。本当にありがとうございました。来年度、この行政改革実施計画は見直しを行います。併せて、委員改選にもなりますので、またお願いさせていただくこ

ともあるかもしれませんが、その際はどうぞよろしくお願いいたします。なお、本日の会議の議事録につきましては、各委員の皆様にご確認いただいたのちに、後日、町のホームページで公開させていただく予定ですので、よろしくお願いいたします。それでは、以上をもちまして、「令和7年度播磨町行政改革懇談会」を閉会いたします。本日は、ご多用のところありがとうございました。